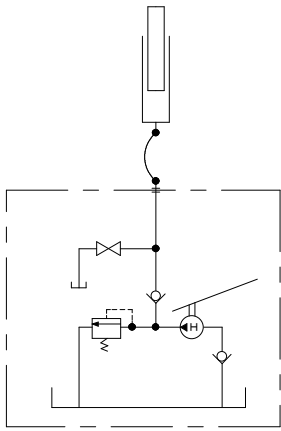
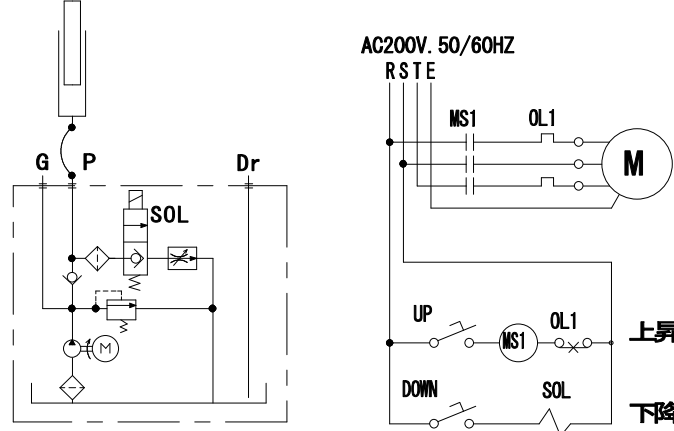
仕様

型　　式	許容荷重	テーブル寸法 W×L(mm)	ストローク ST(mm)	テーブル高(mm) MIN～MAX	上昇時間(秒) 50H／60HZ	ポンプ回数	モーター出力(kw)	自重(kg)
HLH-15-2007	150kg	200× 700	505	65～570	—	25回	—	40
HLH-15-2507	150kg	250× 700	505	65～570	—	25回	—	42
HLH-15-3007	150kg	300× 700	505	65～570	—	25回	—	44
HLH-15-2009	150kg	200× 900	635	65～700	—	25回	—	46
HLH-15-2509	150kg	250× 900	635	65～700	—	25回	—	48
HLH-15-3009	150kg	300× 900	635	65～700	—	25回	—	50
HLH-25-2008	250kg	200× 800	500	80～580	—	34回	—	43
HLH-25-2508	250kg	250× 800	500	80～580	—	34回	—	45
HLH-25-3008	250kg	300× 800	500	80～580	—	34回	—	47
HLH-35-2008	350kg	200× 800	500	100～600	—	36回	—	46
HLH-35-2508	350kg	250× 800	500	100～600	—	36回	—	48
HLH-35-3008	350kg	300× 800	500	100～600	—	36回	—	50
HLE-15-2007	150kg	200× 700	505	65～570	8／6	—	3相200V-0.4	54
HLE-15-2507	150kg	250× 700	505	65～570	8／6	—	3相200V-0.4	56
HLE-15-3007	150kg	300× 700	505	65～570	8／6	—	3相200V-0.4	58
HLE-15-2009	150kg	200× 900	635	65～700	8／6	—	3相200V-0.4	60
HLE-15-2509	150kg	250× 900	635	65～700	8／6	—	3相200V-0.4	62
HLE-15-3009	150kg	300× 900	635	65～700	8／6	—	3相200V-0.4	64
HLE-25-2008	250kg	200× 800	500	80～580	10／8	—	3相200V-0.4	57
HLE-25-2508	250kg	250× 800	500	80～580	10／8	—	3相200V-0.4	59
HLE-25-3008	250kg	300× 800	500	80～580	10／8	—	3相200V-0.4	61
HLE-35-2008	350kg	200× 800	500	100～600	10／8	—	3相200V-0.4	60
HLE-35-2508	350kg	250× 800	500	100～600	10／8	—	3相200V-0.4	62
HLE-35-3008	350kg	300× 800	500	100～600	10／8	—	3相200V-0.4	64

足踏油圧式の油圧回路

電動油圧式の油圧回路と電気回路

品　質　保　証

1．保証期間はリフトを納入した日から、１０ヶ月と致します。
2．保証期間内に取扱説明書に従った、正常な使用状態で故障が生じ、弊社がその欠陥を認めた場合は、無料で修理致します。
3．保証期間内でも、次の場合は有料になります。
　①使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
　②災害又は、天災や公害による故障、及び損傷。
　③指定外の電源による故障、及び損傷。
　④事故によって生じたと認められる故障、及び損傷。
　⑤軸受・ブレーキ・潤滑油などの消耗品。
　⑥組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
4．日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

総発売元 トラスコ中山株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号
E-mail:techno.center@trusco.co.jp
お客様相談室 0120-509-849

TRUSCO PRO TOOL

取扱説明書

No.１９０９２７

SLIM LIFTER

スリムリフター

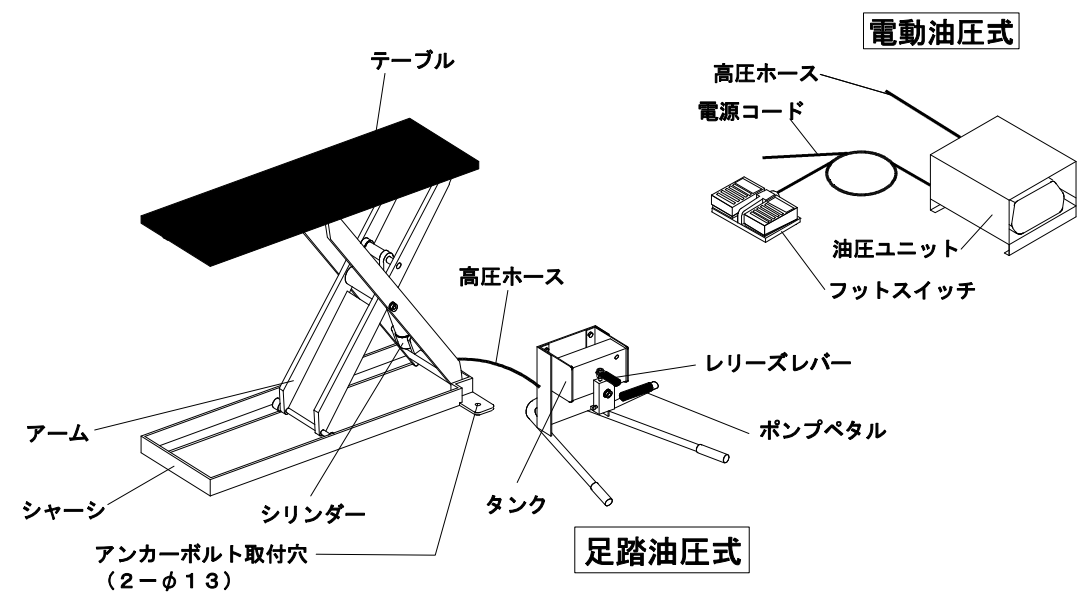
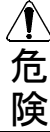
HLH-15-2007,2507,3007,2009,2509,3009　25-2008.2508,3008　35-2008.2508,3008
HLE-15-2007,2507,3007,2009,2509,3009　25-2008.2508,3008　35-2008.2508,3008

　この度は、スリムリフターをお買い上げ頂きましてありがとうございました。本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

注意

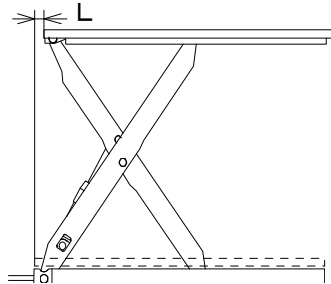
●取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
●取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
●取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
●取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1　各部の名称

2 据付

●シャーシには、転倒防止用の取付穴（２－φ１３）があいていますので、
頑丈で水平な面にアンカーボルトで固定してください。
●屋内に据え付けてください。　（塵埃の少ない、水、蒸気のかからない場所）
●周囲温度　０～４０℃　　●周囲湿度８５％以下　　●高度１０００ｍ以下

⚠危険
●運搬、設置、配管、配線、保守、点検、は専門知識と技能を持った人が実施してください。感電、けが、火災、装置破損のおそれがあります。
●爆発性雰囲気中では使用しないでください。

●テーブルのズレ
このリフトは極限まで下降高さを低くしている為にテーブルが上昇するにつれて水平方向ローラー側にズレが生じます。
ズレは最高位で最大になります。（右表参照）

機種別最大ズレ量

型式	L(mm)
HL※-15-※※07	22
HL※-15-※※09	21
HL※-25-※※08	20
HL※-35-※※08	27

●スプリングバック
リフトした状態で台車等が相手側に乗り移ると、リフトに掛かる負荷が軽くなりスプリングバックでテーブルが少し持ち上がります。
スプリングバックを嫌う場合には、スプリングバック防止装置を付けてください。

3 安全上の注意事項

●許容荷重以上は載せないでください。●屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●リフターを運搬される場合は、水平に運搬してください。油圧ユニットを倒すとオイルが漏れますので注意してください。
●傾斜地では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
●積み荷は片荷や集中荷重にならないよう注意してください。
●リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に手足を入れないでください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を施して下さい。
●使用しない時やメンテナンス時には必ず電源を切ってください。
●異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。

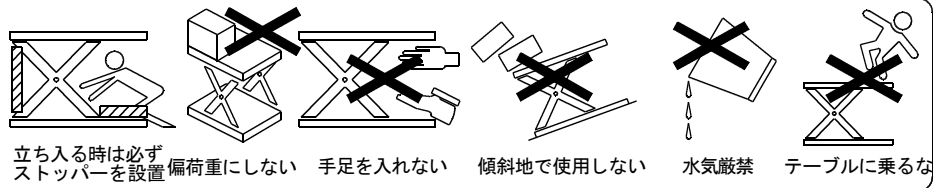
警告

立ち入る時は必ずストッパーを設置

偏荷重にしない　手足を入れない

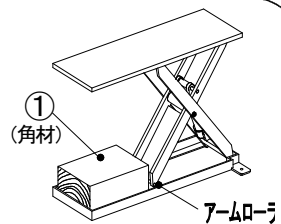
傾斜地で使用しない

水気厳禁

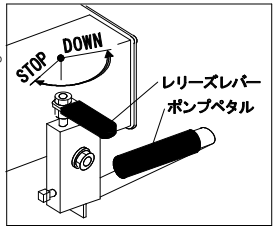
テーブルに乗るな

4 保守・点検時の下降防止安全対策

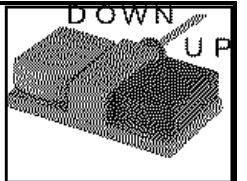
●保守・点検などリフト内に入るときは、テーブル上の荷物や治具を降ろし電源を切り、下降防止ストッパーを設置して、テーブルやアームが下降して手足を挟まないように安全対策を施してください。ストッパー等を設置しないとテーブルが下降して死亡災害のおそれがあります。

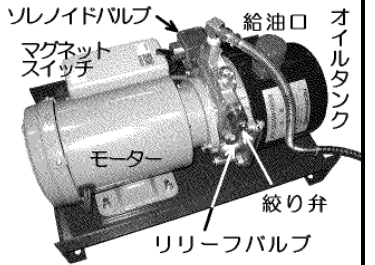
１，テーブル上の荷物や治具を降ろし、上昇させてください。
２，シャーシのアームローラにストッパー（角材）①を噛まし、アームが下降しない様にしてください。
３，電源を切ってください。

※ストッパー（角材）①等はお客様でご用意ください。

5 操作方法

足踏油圧式

１，ポンプのレリーズレバーを”**STOP**”の方向へ回し、ペダルを漕ぐと上昇し、”**DOWN**”の方向へ回すと下降します。
回し加減で下降スピードの調整ができます。
・ペダルを漕いでも上昇しない場合。
ポンプレリーズレバーを”**DOWN**”の方向へいっぱい回し、ペダルを数回早く漕いでください。（空漕ぎする）
この操作をすると直ります。

電動油式

１，電源コードを電源（三相、AC200Ｖ、５Ａ以上）に接続してください。
注意：配線の長い時は電圧降下が大きくなります。電圧降下が２％以下となるような電線の太さを選定してください。
２，フットスイッチの”ＵＰ”を踏むと上昇し、放すと停止します。
３，フットスイッチの”ＤＯＷＮ”を踏むと下降し、放すと停止します。

注意
・モーターが回っても上昇しない時は、モーターが逆転している場合があります。
電源コードのアース線以外の２本の線を入れ替えてください。
・リフトが上限・下限に達したら速やかにスイッチを放してください。
・三相 200V のモーターは１５分定格です。昇降を繰り返す場合は、モーターが異常発熱しないよう注意してください。

４，下降速度調整
下降速度は規定荷重にて工場出荷時に調整しています。原則としてさわらないでください。やもうえず調整する場合には、まず絞り弁のナットをゆるめ、絞り弁を右（時計回り）に回すと下降速度は速くなり、左に回すと遅くなります。　１／８回転づつ回して規定荷重を載せ調整してください。無負荷で調整すると積載時には下降速度が速くなり危険です。調整後ナットで絞り弁を固定してください。
５，圧力調整（リリーフバルブ）
圧力調整は規定荷重にて工場出荷時に調整してあります。絶対さわらないでください。

6 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、内部を点検するときは前記の下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

日常点検
■本体外観上に異常はないか。
■リフトの昇降動作に異常はないか。
■周囲に障害物はないか。
■異常音や異常発熱はないか。

定期点検（一ヶ月毎）
■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。
■油圧作動油は不足していないか。油漏れはないか。
■高圧ホース、電気配線等に亀裂や摩耗はないか。
■溶接部の亀裂や破損はないか。
■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。

油圧作動油の交換

油圧作動油の交換時期は、使用状態によって異なりますが、５００時間運転毎、又は１年経過毎に交換してください。オイル交換する時はゴミが入らないよう注意し、リフターはいっぱいまで下げてから行ってください。

オイル量
足踏式—タービン油
ISO.VG22 — 600CC
電動式—タービン油
ISO.VG32 — 1300CC